率先垂範 Active citizens であるために

JC LIFE

2018年 新春号

JCI 一般社団法人尾道青年会議所 http://www.ojc.or.jp/ 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL：0848-20-1110 FAX：0848-20-1112 E-mail：ojc@urban.ne.jp Facebook：http://www.facebook.com/isojcnow

2018年度理事長
安本 皇

昨年、尾道青年会議所は創立60周年という節目の年を迎えました。これまで多くの先輩方が時代と地域のニーズを把握し、尾道の明るい未来を思い描き、その実現に向け行動されてきました。連綿と受け継がれてきたまちづくりに対する高き志を再認識し、これまでの先輩方の取り組みを学び、今一度、尾道青年会議所としてまちのために何をすべきか共に考え、率先して行動していく必要があります。

青年会議所は、市民の意識改革を推進する団体です。尾道のまちを湖と捉えるなら、我々が展開する運動はそこに投じた一石と例えることが出来ます。水面には大きな波紋が広がるでしょう。より大きな波紋を創り上げるためにはどうすればよいでしょうか。一石を投じる我々自身が率先して行動し、意識改革を図り、成長していくことが必要ではないでしょうか。

JCしかない時代から、JCもある時代の中で尾道青年会議所が誇るべきものは何でしょうか。一つは様々な出会いの中で、積極的な変化を経験し、困難を乗り越えながら濃密な時間を仲間と共有し、リーダーとしての資質を体得する個の成長の場であると考えます。

多くのひとは変化を嫌います。新しい何かに挑戦するよりも、ストレスの少ない安定した環境に身を置く方を選んでしまいます。しかし、青年会議所には活動を通じて様々な成長の機会があります。JAYCEEとして、地域を担う青年経済人として我々の成長こそがまちを成長させるのです。積極的に行動し、仲間と共に成長しましょう。

未来を担う子供たちは地域の宝です。子供たちが多くの困難を乗り越え達成感を経験することは、情操豊かな心を育み、心身共に健やかに育っていく上で重要なことです。本年度も子供たちが自ら考え、行動し、体験を通じた青少年育成事業を展開して参ります。また、子を持つ親世代の我々大人たちも共に学び、おもいやりの心で他人事を自分事と考える地域教育を推進します。

地域の安全は、青年会議所だけでなく地域社会と共に進める必要があります。全国的にも自然災害等多大な被害が相次ぎ尾道もまた、近年自然災害等で各地域で災害が発生しているのが現状です。

昨年度、尾道市・尾道市社会福祉協議会・因島青年会議所と災害時における被災地支援に関する四者協定を締結いたしました。これを機に、有事に備えた地域コミュニティーの関係強化、市民の防災意識の向上等を進めなければなりません。地域社会との連携を含めた地域の安全を目指したまちづくりを目指します。

今年は尾道市制施行120周年、尾道市・今治市姉妹都市提携50周年という節目の年でもあります。我々はまちづくりの一環として、これまでも数多くの事業を展開してきましたが、これまでも培ってきた尾道の歴史・伝統・地域の魅力を再発見すると共に、新たな魅力を発掘し、市内外に発信しより一層のまちの発展に繋げて参ります。

そして、魅力あるまちづくり創造へ向け、まちとひとと真摯に向き合い、地域を巻き込んだ運動を展開します。目的や魅力を周知することができなければ自己満足に終わってしまいます。その結果、どのようになるかというビジョンを大局的な観点で描き、未来の尾道を創造します。

会員拡大は本年度に限らず我々の最大の課題です。ただ組織の維持の為だけではなく、我々と志同じうする仲間が増えることは、青年会議所の運動を伝播することではないでしょうか。次代を担う同世代の若者が、JCでしか経験できない貴重な機会を逃してしまうことは、とても残念なことです。全てのメンバーが自らの言葉で青年会議所の素晴らしさを伝えると共に、我々一人ひとりが魅力溢れる存在でなければなりません。その魅力が多くの新たな出会いに繋がるのです。

本年度も尾道青年会議所はLOMに留まることなく、広島ブロック協議会・中国地区協議会・日本青年会議所のメンバーとの交流を積極的に行います。出向や事業の参加を通じて、新たな出会い、自己啓発など貴重な機会の場となることでしょう。

外に出てみて初めて気づく知識や経験は必ず自分自身、ひいてはLOMの成長につながることでしょう。

家庭において、職場において、そして青年会議所において、それぞれの立場で誠実に取り組んでいるか、今一度、自分自身に問いかけてください。

青年会議所は、市民の意識改革の団体です。そのためには、まずは私たちが自らの振る舞いを見つめ直し、説得力のある姿を見せ続けるリーダーを目指していきましょう。

初詣

1月5日（金）、正副理事長事務局メンバーで、艮神社に初詣に参りました。

安本理事長率いる2018年度尾道青年会議所が、ますます素晴らしい団体となるよう、祈祷をしていただきました。この時期にふさわしい身の引き締まる寒さの中、新年度がスタートしました。

（記事：藤川 彩）

安保会長年頭挨拶

尾道青年会議所
シニアクラブ
会長 安保 雅文

平成30年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃よりシニアクラブの運営に対しまして、温かいご理解とご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は創立60周年という節目の年を迎え、太田雄介理事長のもと強い心を胸に、素晴らしい成果を上げられました。シニアクラブ会員も現役の皆さんと共にお祝いすることができ、この上ない喜びであります。本年は10名の会員をシニアクラブにお迎えしました。毎年会員数は増えるのですが、なかなか活動する機会が少ないのは残念なことだと思っております。シニアクラブも同じように60周年を機に、もう少し現役の皆さんとの交流を深め、何か皆さんのお役に立てることがないか考えてみたいと思っております。

本年度、安本皇理事長は率先垂範～Active citizensであるために～のテーマのもと、新たなＪＣの時代を切り開いて行かれることでしょう。また、ブロックゴルフ大会の主管もあると伺っております。シニアクラブとしてもできる限りの応援をさせていただきます。

尾道市も市制施行１２０周年の節目を迎えます。また、来年は開港８５０年を迎え、まちづくりに向けた取り組みが活発になると思われます。今こそ青年会議所の出番です。皆さんのますますのご活躍を期待して、新年の挨拶とさせていただきます。

理事長新年のご挨拶

第62代理事長
安本 皇

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、一般社団法人尾道青年会議所の事業、運動に対しまして多大なるご支援ご協力を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げますとともに、皆様が新しい年を健やかに迎えられましたことにお慶び申し上げます。

私は一般社団法人尾道青年会議所２０１８年度理事長を拝命しております安本皇と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人尾道青年会議所は、昨年60年の節目の年を迎えました。これまでの歴史と伝統を築いてこられました諸先輩方のご尽力と、多くの市民の皆様、行政、関係団体の皆様からのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

本年度、一般社団法人尾道青年会議所は新たな一歩を踏み出す年となります。「率先垂範 ～Active citizensであるために～」のスローガンのもと、メンバー一同が地域の問題や課題解決に向け率先して行動するとともに、明るい豊かな尾道の実現を目指し、まちのために何をすべきか考え、事業や運動を展開して参ります。

また、我々メンバー一人ひとりが襟を正し、今一度足元を見つめ直し、一歩一歩着実に成長し、説得力のあるリーダーを目指して日々精進して参ります。

本年も一般社団法人尾道青年会議所に対しまして、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

皆さまのご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

卒業例会

山本 治永 先輩

川原 奨二 先輩

樫野 竜 先輩

土屋 誉之 先輩

山脇 将司 先輩

森石 貴裕 先輩

濱野 光展 先輩

桑田 智也 先輩

大村 芳弘 先輩

吉原 寿希 先輩

12月14日（木）、尾道国際ホテルにおいて2017年度最後の事業となる卒業例会が盛大に行われました。今回の例会は「伝わるこころ～一期一会の出会いに感謝を～」のテーマのもと、10名の卒業生のこれまでの活動を振り返り、残してくれた心を胸に刻み込み、卒業生との一期一会の出会いに感謝を込めながら、これからも続くつながりを確かめ合いました。

尾道青年会議所にて、一生に一度の出会いから始まり、喜怒哀楽を共にしてきたかけがえのない同志をＯＢ・特別会員の皆様と共に盛大に送り出すことが出来ました。

また、サプライズとして卒業生の皆様に後日特製ＤＶＤを贈らせて頂きました。内容的には送辞・答辞の他、卒業例会だけでは伝えきれない委員会メンバーからのメッセージを収録致しました。委員会メンバーや送辞者の祝意がお伝えできたのではないかと思います。

卒業例会にご協力頂きました全ての皆様に厚く感謝申し上げます。

結びに、大村芳弘先輩、樫野竜先輩、川原奨二先輩、桑田智也先輩、土屋誉之先輩、濱野光展先輩、森石貴裕先輩、山本治永先輩、山脇将司先輩、吉原寿希先輩、ご卒業誠におめでとうございます。皆様のご健勝と更なるご活躍を心より祈念申し上げます。

（記事：2017年度総務広報委員会 委員長　政成 啓行）

尾道市商工会議所 新年互礼会

1月4日（木）、尾道国際ホテルにて尾道市・尾道商工会議所主催の新年互礼会が開催されました。

尾道青年会議所からは安本理事長をはじめとする、正副理事長並びに事務局のメンバーで出席させて頂きました。平谷市長、また福井会頭もご挨拶の中で触れられておりましたが、平成30年は尾道市においては市制施行120周年の記念の年でもあり、我々尾道青年会議所メンバーにとっても、地元尾道の為に何が出来るのだろうと想いを巡らせる良いきっかけになりました。

また、多くのＯＢ・特別会員の諸先輩方にもご挨拶をさせて頂き、2018年度のスタートにあたって沢山のエールを頂戴しました。

限られた時間ではありましたが、多くの刺激を頂けた貴重な機会となりました。

（記事：理事セクレタリー　加藤 雄大）

率先垂範 Active citizens であるために

2018年度 委員長あいさつ

ブロックゴルフ大会実行特別委員会

テーマ「師厳道尊」

新年明けましておめでとうございます。本年度 ブロックゴルフ大会実行特別委員会 副実行委員長を仰せつかりました歌一行と申します。

当委員会ではブロックゴルフ大会やしまなみ3JCなどLOMの枠を超えた事業を担当して参ります。テーマのとおり主管LOMとして志を高く持ち、リーダーとして率先して行動することで尾道の魅力を内外に発信していきたいと考えております。皆様一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副実行委員長　歌 一行

地域教育推進委員会

テーマ「ゼロからの創造」

新年明けましておめでとうございます。地域教育推進委員会委員長の新宅正章と申します。

私は各関係機関と連携し、地域を巻き込んで事業を実施していきたいと考えております。そして、“教育”について今一度考えていただける場を市民の皆さまに提供して行くとともに、私たち自身も学び成長していきたいと考えております。

皆さま、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

委員長　新宅 正章

未来ビジョン委員会

テーマ「常識っていうのは、ただの多数決」

明けましておめでとうございます。未来ビジョン委員会委員長の吉田雄太です。今年度は魅力あるまちづくりと、青年経済人の育成事業という二本柱でいきます。少し勘違いされるテーマですが、今まで使われてこなかった手法や非効率な手法でも、より良い事業の創造の為に加度副理事長、宮地副委員長、そして委員会メンバーと共に挑戦し続けていきますので、よろしくお願いいたします。

委員長　吉田 雄太

総務広報委員会

テーマ「力」

新年明けましておめでとうございます。本年度、総務広報委員会の委員長を勤めさせていただく、鍋島巧と申します。今年のテーマは「力」とさせていただきました。より一層力強く広報を行い、尾道JCの活動を内外に発信していきたいと思います。広報を行ううえで皆様にご協力を頂く場面が多数あるかと思いますが、宜しくお願いします。

委員長　鍋島 巧

編集後記

あけましておめでとうございます。総務広報委員長の鍋島です。まだ何かと勝手が分からないなかでしたが、新年度第一号をお届けします。今年もJCライフを宜しくお願いします。なお、JCライフの電子化をさらに進めるため、今年度は現役会員に紙媒体でのJCライフの配布を行いません。ホームページやメール配信を要checkしてくださいね。

（記事：総務広報委員会 委員長　鍋島 巧）

会員資質向上委員会

テーマ「原点・回帰」

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本年度、会員資質向上委員会の委員長を務めさせていただきます中島と申します。

会員資質向上委員会ではテーマ「原点・回帰」のもと、原点に立ち返り今の尾道青年会議所に何が必要なのかを改めてしっかり考え、今まで以上に魅力ある尾道青年会議所になるよう委員会のメンバーと共に一生懸命活動してまいります。

1年間どうぞ宜しくお願い致します。

委員長　中島 裕一朗

社会開発委員会

テーマ「自覚」

社会開発委員会の委員長を仰せつかりました河原です。理事をさせていただくことで、過去の事業を多く知ることができました。そこにはたくさんのヒントがあります。過去、現在を調査・研究し、未来にむけて実践する。本当に良い伝統だと感じております。最後の年にこのような機会をあたえてくださったメンバーの皆様に感謝し、一年間を全うしたいと思います。

委員長　河原 研介

拡大研修委員会

テーマ「礎」

明けましておめでとうございます。

本年度拡大研修委員会委員長の高升です。

次代への礎となるべく拡大活動を推進します!

仲間を創り人創りを進め、尾道JCを盛り上げ、そして尾道を盛り上げていきたいと考えておりますので皆様どうぞよろしくお願い致します。

委員長　高升 純

事務局長

明けましておめでとうございます。

2018年度事務局長の島田と申します。本年度、安本理事長・川﨑専務理事のもと事務局メンバー一丸となって会の運営に力を注いでいき、理事長が掲げられる「率先垂範」を、我々事務局としても深く受け止め行動していきます。事務局メンバーもこの一年間を通して、成長できるよう精一杯努めてまいります。

一年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

事務局長　島田 元太

HP

facebook